

# 田富小だより

## 田富小の特性 多様で国際的な環境

田富小学校は、今年度から3年間、文部科学省の「外国人児童生徒支援事業」の拠点校に山梨県教育委員会より指定されています。その関係で10月16日に、外国人児童生徒支援連絡会議の委員さんによる学校視察が行われました。委員さんからは、一人一人の実態に応じた指導が行われていること、他言語文化に対応した日本語教室の環境が整っていることなどを評価していただきました。また、「日本人の児童にとっても外国籍児童とのかかわりを通して、多様性を認める国際感覚が育っているのではないか。」とのお言葉もいただきました。田富小学校の今は、10年後、20年後の日本の社会を先取りしてるのかもしれませんが、田富小で学んだ子供たちが、国際社会で活躍する人材に成長することを楽しみにしています。

## 6年生 本物に触れた修学旅行

10月7日（水）から8日（木）に、6年生の修学旅行が行われました。修学旅行では、鎌倉の自由散策や国会議事堂、第五福竜丸展示館、国立科学博物館の見学をしました。どこも田富小学校の貸し切り状態でした。これらの活動を通して、歴史や政治、平和、科学について学習してきました。国会議事堂の見学をした後、「議場に入って感動した。」という声も聞こえてきました。「百聞は一見に如かず」ということわざの通り、子供たちにとって本物に触れる貴重な機会となったことと思います。



鎌倉 高德院



鎌倉 銭洗い弁天



鎌倉 鶴ヶ岡八幡宮



国立科学博物館



国会議事堂



第五福竜丸展示館

## 今年度初めての授業参観

10月20日の一日学校開放日には、本年度初めて保護者の皆さんに授業を参観していただきました。新型コロナ対策のため、3つのグループに分けての参観となりました。マスクの着用以外は、これまでと変わらない授業中の姿に安心していただけたことと思います。これから寒さが増し、インフルエンザの流行も心配な季節になります。再び子供たちの学びを止めることのないよう、学校と家庭が力を合わせて子供たちの健康管理に取り組んでいきましょう。

# 私が出会った素敵な子ども達の姿

①6年生のAさんは、運動会前に腕を骨折してしまいました。しかし、最後の運動会にかける思いは強く、表現はできる種目に取り組みました。運動会当日、できない種目を見守るAさんの目には涙があらわれていました。やりたいのにやれない悔しさの表れだと思います。できる種目はしっかりやり遂げました。医者からの許可が出たので、ギブスをしながらリレーにも出場しました。厳しい状況においても、できることに精一杯取り組む姿勢に心を打たれました。

②4年生のBさんも、運動会直前に足を骨折してしまいました。さすがに演技はできませんでしたが、ナレーションで参加しました。みんなと一緒に表現を作り上げようとする気持ちが感じられました。みんなと同じことはできなくても、それをやらない理由にすることなく、できることで貢献することの大切さを改めて教えられました。

③高学年の児童は、運動会の運営にも参加します。表現やリレーの練習だけでなく、係活動の時間に運動会の運営の準備や練習を行いました。子供たちの表情からは、日々高学年としての自覚が高まっていくのを感じました。

## 田富小ニュース

### 5年生 稲刈り



10月1日に、まちづくり時習塾のみなさんに指導していただきながら、稲刈りをしました。子どもたちは、刈った稲を束ねるのに苦労していました。収穫した米をどうやって食べるのか楽しみです。

### 中学生による陸上指導



小中交流の取り組みの一つとして、毎年田富中の陸上部員による6年生への指導の機会を設けています。今年度は、10月16日に行いました。陸上記録会に向け、技術と意欲を高めることができました。

### 4年生 校外学習



10月19日に、4年生の校外学習が行われました。中央市教育委員会の今村さんに説明していただきながら、信玄堤、将棋頭など、昔の人々が水害と闘ってきた足跡をめぐってきました。「百聞は一見に如かず」の言葉の通り、充実した学びの機会となりました。

### 6年生 陸上記録会



10月21日に、小瀬陸上競技場を会場に田富・玉穂地区合同陸上記録会が行われました。秋晴れの青空の下、一人一人が自己ベストを目指して、一生懸命頑張りました。自分との戦いを通して、たくましく成長した6年生でした。

